

# ナウマン通信



2022年  
1月11日発行  
第29号

大阪市立我孫子南中学校

## 寅年にトライ！



1月11日、無事に3学期の始業式を迎えることができました。  
始業式でお話しした内容を紹介させていただきます。

あけましておめでとうございます。新しい年の始まりと共にいよいよ最終学期のスタートとなります。「光陰矢の如し」というように本当にあつという間に3学期になりました。3年生に至っては卒業まで約2か月です。大切な1年間の締めくくりになる3学期の始まりの時に2点、皆さんに話しておきたいことがあります。

1点目は一昨年の1月に初めて日本で新型コロナの感染者が確認されました。それから2年が経とうとしていますが、いまだ先行きの見えない状況が続いています。オミクロンという変異株によって感染が拡大してきています。沖縄県などで「まん延防止等重点措置」が発令されました。大阪もいつそうなってもおかしくない状況です。改めて感染予防の徹底に心がけてほしいと思います。君たち自身もそして大切な家族や身近な友達など、誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況であるということを改めて知ってほしいと思います。どうかお互いに相手のことを思いやる気持ちを持ち続けてください。そして不確かな情報に惑わされ、人権侵害につながることのないように、新型コロナウイルスについての正確な情報を知り、正しく恐れ、冷静な対応を続けてください。



2点目は昨年も3学期の始業式で話しましたが、三日坊主についてです。みんなは「三日坊主」という言葉にどういう印象を持っていますか？何かやろうとしても飽きやすく長続きしない、途中であきらめてしまうなど、どちらかといえば悪い印象を持っていると思います。実際に辞書で調べてもそういう意味でのっています。では新しい年の始まりの時に、みんなは何か決意したことはありますか？

「勉強を頑張ろう」「クラブで結果を出そう」「1・2学期の失敗を克服しよう」「あいさつをしよう」「家の手伝いをしよう」などなど、なんでもいいので目標を持って欲しいと思います。どうせ続かないからと決意することや目標を立てることから逃げないで欲しいと思います。校長先生は三日坊主になってしまってもいいと思っています。三日坊主も10回やれば30日やったことになるからです。最初からあきらめて何もないよりは3日だけでもやることのほうが大切なのです。その繰り返しがやがて長続きし、大きな自分の力になることだと思います。今年は「寅年」です。寅年は芽を出したものが「成長していく」「象徴が生まれる」年と言われています。さあ、今まで努力してきたことが芽を出し、一気に成長していく、そんな1年にしていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。